

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[22] ベンジルアルコール</p>	<p>【大気】</p> <p>大気</p> <p>捕集 Autoprep PS@Gas 0.1L/分×24時間</p> <p>溶出 アセトン 5mL</p> <p>内標準添加^{注2} ベンジルアルコールd; 5µg/mL 100µL^{注1}</p> <p>濃縮 窒素パージ 1mLまで</p> <p>GC/MS-SIM-EI</p> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。 1:内標準物質の添加量を500ngから100ngに変更した。また、測定機器としてGCはHP6890、MSはHP5973N、カラムは(60m×0.25mm、0.25µm)を使用した。 2:内標準物質の添加を濃縮前でなく濃縮後に行った。また、測定機器としてGCはGC-17A、MSはQP5050を使用した。 3:測定機器としてGCはGC-17A、MSはGCMS-QP5000を使用した。</p> <p>「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p><分析原理> GC/MS-SIM-EI</p> <p><検出下限値> 【大気】 (ng/m³) [22] 450</p> <p><分析条件> 機器 GC : Varian CP-3800 GC^{注1 注2 注3} MS : Varian 1200 series^{注1 注2 注3}</p> <p>カラム DB-WAX 30m×0.25mm、0.25µm^{注1}</p>